

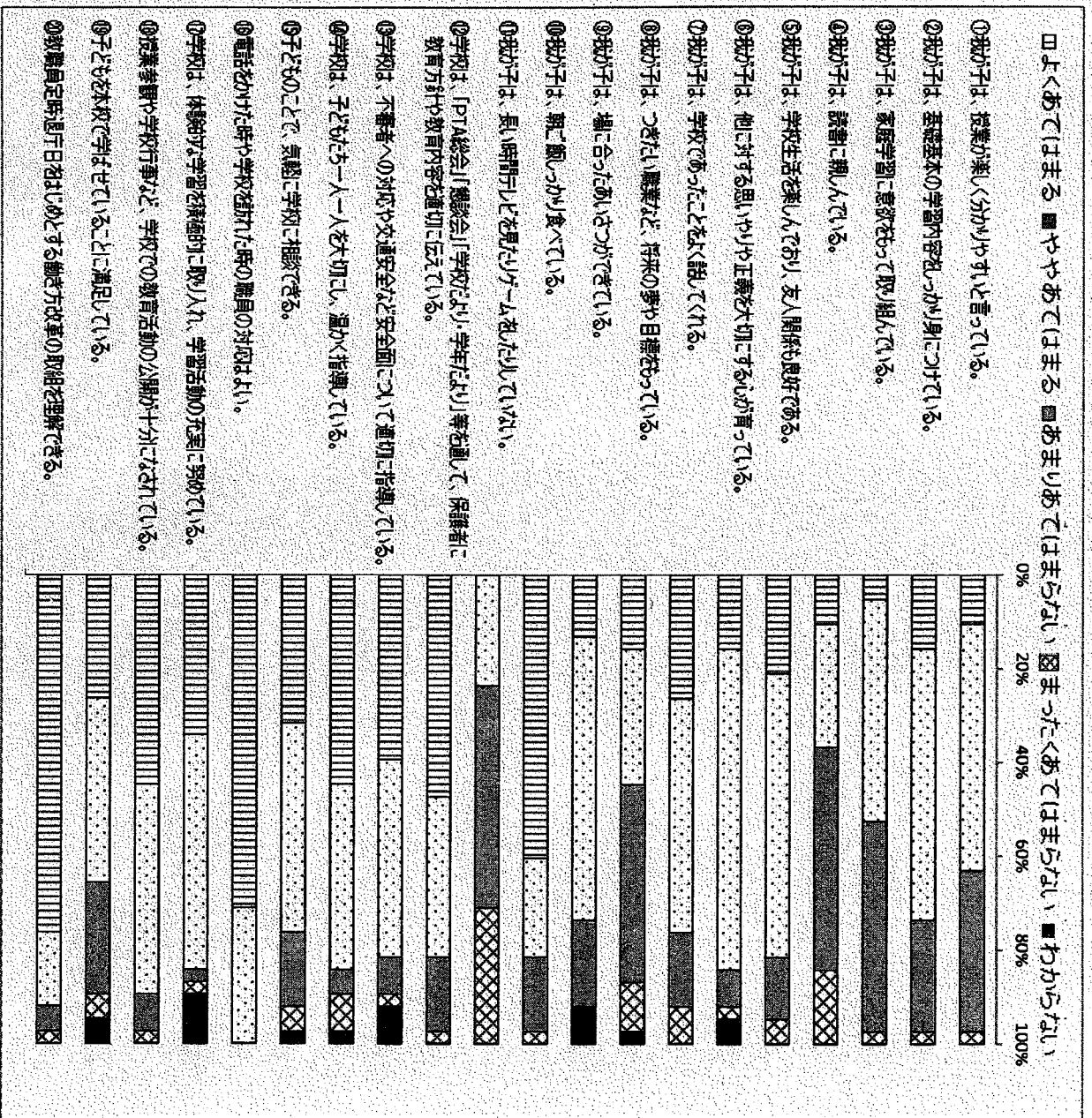
しもうさかつこ

No.10
 福井市下宇坂小学校 学校だより
 令和6年2月14日
 〒910-2222 福井市市波町55-5
 TEL:96-4054 FAX:96-7000

「本校の教育活動に関する調査」結果について その1

昨年末、保護者の皆様にご協力いただきました「本校の教育に関する調査」の集計が終わりましたので、下記のとおり御報告いたします。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございます。ごさいました。結果につきまして、次年度の学校教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも本校教育活動に対しまして御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

令和5年度 アンケート集計結果【保護者】

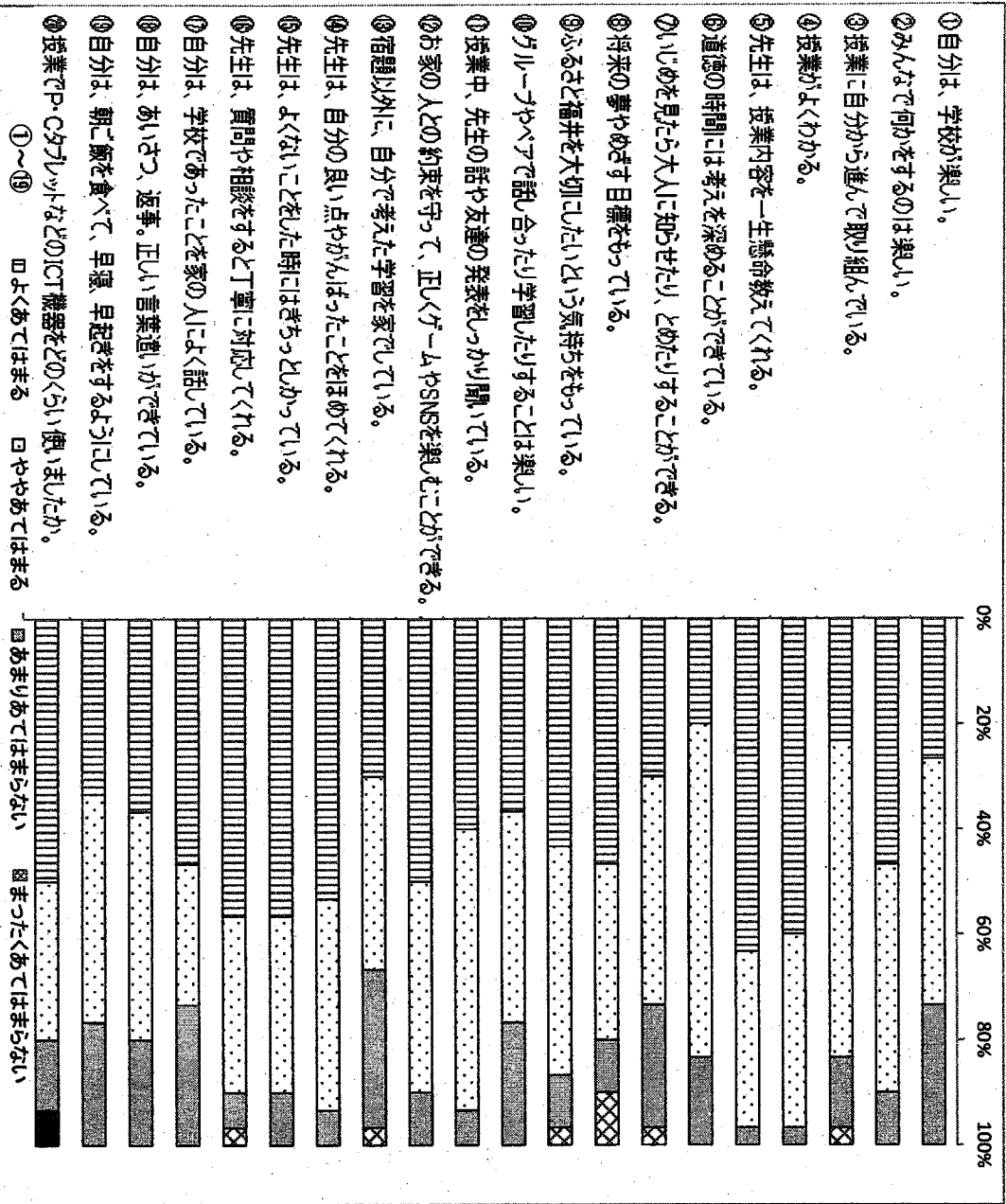


裏に、【児童】のアンケート集計結果があります。また「その2」として結果分析(表・保護者、裏:児童)を掲載しました。グラフとあわせてお読みください。

「本校の教育活動に関する調査」結果について

昨年末、児童を対象に行いました「本校の教育に関する調査」の集計が終わりましたので、下記のとおり御報告いたします。本年度の学校教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも本校教育活動に対しまして御理解と御支援を賜りますようお願いいたします。

令和5年度 アンケート集計結果【児童】



①～⑱ □よくあてはまる □ややあてはまる □あまりあてはまらない □まったくあてはまらない

㉑ □ほぼ毎日 □週3回以上 □週1回以上 □月1回未満

【保護者】

○質問 1～11：お子さんの様子について

- ・ A+Bが80%以上 は
「5 学校生活や友人関係」「6 思いやり・正義」「10 朝ごはん」の3項目でした。
「良好な友人関係を保ち、楽しく学校生活を過ごせること」「思いやりの心や正義感をもつて集団生活を送ること」は目指す学校の基本であると考えております。今後もその点を軸として教育活動を続けて参りたいと思います。

- ・ A+Bが60%未満 は
「3 家庭学習」、「4 読書習慣」、「8 将来の夢や目標」、「11テレビ・ゲーム」の4項目でした。この4項目はここ数年の共通した課題となっております。

「3 家庭学習」

「やろっさノート・カード」の活用で、自分で課題を選んで学習する工夫をしている児童が増えた学級もあります。自主学习の方法を具体的に伝えたり、よくできているノートを学級で紹介したりするなど今後とも各自の意欲を高め自主的に学習する習慣づけを進めます。

「4読書習慣」

朝読書・読み聞かせ・お勧めの本コーナー・あじさい号の利用など、学校においては引き続き、読書推進に力を入れていきます。長期休業中には親子読書にご協力いただき環境がとうとう整いました。放送や掲示物でも親子読書の紹介をするなど、本が身近にある作りを次年度も行なって参ります。

「8 将来の夢や目標」

「教育文化講演会」として、今年度はチアドリームプロジェクトを招き、「自分の夢を叶えよう！～夢を描くプロジェクトを行いました。自分の夢を叶えて活躍している身近な方々と交流し、自分の将来の夢を絵や文に表すことで、今の自分の将来に希望がもてる方りたいことを具体的に考える機会になりました。次年度も自分の将来に希望がもてるような体験活動やキャリア教育を進めて参ります。

「11 テレビ・ゲーム」

11月に実施した情報モラル教室(3～6年)には保護者の方にも多数ご参加いただき、テレビやゲームについて関心の高さを感じました。保護者の方からは「注意してもなかなかやめられない」「(友達も)みんなやっているとわかれると親としてはひるんでしまおう」など、率直な感想もいただきました。一方でゲームが脳に与える影響や、ネット上で調べられるよりも辞書を引いた方が脳が反応(記憶)するなどの調査結果については、児童も真剣に聞き入っていました。学校ではインターネットの良さや弊害の双方を学びつつ、保護者の方とともに学ぶ機会を次年度も取り入れたいと考えています。

○質問 12～20：学校(教職員)について

- ・ A+Bが80～90%以上 は
「12 情報発信」「13 安全指導」「14 温かい指導」「17 体験学習」「18 学校公開」の5項目、
- ・ A+Bが90%以上 は
「16 職員の対応」「20 働き方改革」の2項目でした。
いずれも高い評価をいただき、ありがたく思っております。今後も、全職員で一人一人の児童をしつかりと見守り、適切な指導と支援をしていく所存です。また、学校での様子を保護者や地域への公開を継続して行い、理解していただけるよう努力して参ります。

- ・ A+Bが80%未満 は
「15 気軽に相談」「19 学校への満足度」の2項目あり、真摯に受け止めております。
お子さんのことについて、保護者の方に気軽に相談していただけるよう、日々の連携や学校および学級からの発信にも配慮して参りますので、お気づきの点はご連絡ください。

【児童】

○質問 1～4、6～13、17～19：お子さん（本人）について

- ・ A+Bが90%以上 は
「2 みんなで何かをするのが楽しい」「4 授業がよくわかる」「11話をきちんと聞く」「12約束を守ってゲーム」の4項目でした。
授業を理解し、集団生活の意義を感じる児童が多いことは大変嬉しく思います。12については、本人と保護者の認識にかなり開きがあると感じます（保護者アンケート:11）。新学年に向けて、ご家庭でお子さんと振り返りをしていただき、家庭でのルールについて共有をお願いいたします。11については、興味のあき内容かどうか、また学年によつての差も見られます。今後とも継続して「話をきちんと聞ける子」を育てたいと思います。

・ A+Bが80%以上 は

- 「3 授業に進んで取り組む」「6 考える道徳」「8 将来の夢や目標」「9 ふるさと福井が大切」「18 あいさつ」の5項目でした。
3については、昨年の67%から大きく上がりました。理由として、複式の授業で児童が学習し、リーダーになりながら課題を進めたり、様々な教科でタブレットを活用して互いに考えを広げたりという学習形態が定着してきていると思いが、理解も。今後の成長の核となる内容ですので、次年度も学習方法を工夫して、児童の積極的な学びを支援したいと考えています。

・ A+Bが80%未満 は

- 「1 学校が楽しい」「7 いじめを止められる」「10 グループ学習」「13 家庭学習」「17 家で学校の話をする」「19 早寝早起き朝ごはん」の6項目でした。

「1 学校が楽しい」の項目が74%（昨年度84%）であることは重く受け止めております。学級・友人や教員との関係、学習内容や理解など、原因は様々な考えられますが、児童一人一人の良さを認め、伸ばしてい学校にするため、集団のルールを守ります。こと、場合作りにより我慢が重要です。このことは10の項目もつながり、と思つております。昨年同様70%台でした。日常生活と、道徳など心「7 いじめを止められる」は昨年同様70%台でした。日常生活と、道徳など心情面での理解を組み合わせて、今年同様70%台でした。日常生活と、道徳など心情的な指導を心がけてまいります。
「13 家庭学習」については向上が見られましたが、こちらも保護者の認識と開きがあるようです（保護者アンケート:3）。また17・19については、基本的な生活習慣が確立、話を聞いて認めてもご家庭での協力によるしくお願いいたします。

○質問 5、14～16、19、20：学校（教職員）について

- ・ 14～16はいずれもA+Bが90%以上であり、高い評価でした。日頃から授業の充実、褒める点と叱る点のメリハリを一つのこと、児童一人一人を見守ること、大切さなどに重点を置いて教育活動をしており、今後も温かく、必要な場面では厳しさももちながら、児童との信頼関係を大切に、教育活動を進めていく所存です。20については授業でのICTの活用法を教員同士学びながら、活用していきます。

学校としては、それぞれのアンケート結果を真摯に受け止め、引き続き改善に努めて参ります。一方でアンケートだけでは見えないこと、分からないこと、見えない子ども達と直接向き合う時間を大切に、保護者・地域の皆様のご意見を伺いながら学習支援・児童理解をさらに進めていく所存です。

今後ともご協力・ご支援をよろしく願います。

（文責 竹林史恵）